



図工室から VOL10

令和6年1月11日
馬橋小学校



明けましておめでとうございます。第十回の「図工室から」は、昨年末に3年生の授業で行った造形遊び「つなぐんぐん」を紹介します。

「造形遊び」とは、材料と場を提示して、子供たちが感覚や行為を通して形や色をとらえ、そこから生まれる自分なりのイメージを基に、思いのままに発想し、体全体を使って創造的な活動を行う学習です。造形遊びでは、始めからどんなものをつくろうと考えることはしません。材料を操作しながらその場で思いついたことをやっていくので、結果として作品として残らなくてもよく、行った活動を最後に全部片づけることも多いです。

「つなぐんぐん」では、印刷済みの不要になったコピー用紙を細く切ったものを大量に用意し、これで行ってみたいことを考えて自由にやってみようとして子供たちに投げかけて活動しました。子どもたちは、自由度の高い活動にハイテンションで夢中になって思いついたことを試していました。

活動するメンバーも自由にしたので少人数で紙をつなぐ子たちもいれば、たくさんのメンバーで役割分担をして紙のトンネルのようなものをつくる子たちもいました。

紙なので活動中に切れることも多いのですが、子供たちは状況に合わせて臨機応変に活動を展開し、図工室の風景はどんどん面白く変わっていきました。

絵や工作をきちんと仕上げまでやりきることも大事ですが、うまくつくらないといけないというプレッシャーを感じることなく、いろんなことを試して沢山の体験ができる造形遊びは、楽しみながら子供たちの造形的な力を育むことができる有意義な学習だと考えています。三学期も適宜行いたいと思っています。

